



BRAdmin Professional 4

Microsoft Azure 向け

ユーザーズガイド

著作権

© 2022 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

本文書の情報は予告無く変更されることがあります。本文書に記載されているソフトウェアは使用許諾契約に従って提供されています。ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

商標

ブラザーは Brother Industries, Ltd. の商標もしくは登録商標です。

ブラザーの製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ

一部の機能は機種によってご利用いただけない場合があります。

このユーザーガイドは、Microsoft Azure Storage サービスに接続されている BRAdmin Professional 4 の説明です。通常の BRAdmin Professional 4 と同様の操作については、*BRAdmin Professional 4 ユーザーズガイド*をご覧ください。

ユーザーズガイドに掲載されている画面キャプチャや画像はイラストでの説明のためにのみ提供されているものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の内容と製品仕様は予告無く変更することがあります。

目次

| | |
|---|----|
| 1 はじめに | 1 |
| 1.1 概要 | 1 |
| 1.2 動作環境 | 2 |
| 2 Microsoft Azure..... | 3 |
| 2.1 Microsoft Azure アカウントの設定..... | 3 |
| 2.2 Microsoft Azure の設定..... | 3 |
| 2.3 Shared Access Signature (SAS) 設定について..... | 3 |
| 3 BRAdmin Professional 4 を使用したセットアップ | 4 |
| 3.1 マスターの設定 | 4 |
| 3.2 クライアントの設定 | 5 |
| 3.3 クラウドコネクション設定 | 6 |
| 4 操作 | 7 |
| 4.1 マスター：デバイスタブ | 7 |
| 4.2 マスター：クライアントタブ | 8 |
| 4.3 クライアント | 8 |
| 5 困ったときは..... | 9 |
| 5.1 接続障害 | 9 |
| 5.2 Microsoft Azure との接続を解除してデータを削除する | 9 |
| 5.3 困ったときは..... | 10 |

1 はじめに

1.1 概要

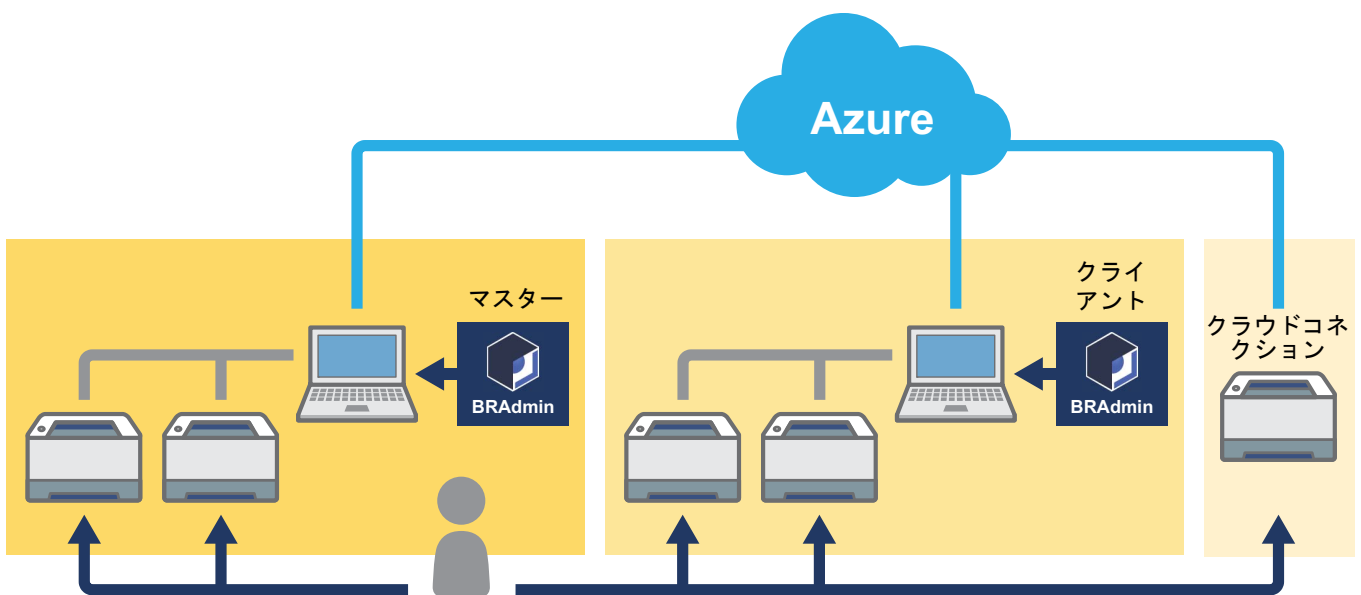
BRAdmin Professional 4 は、弊社のデバイスを管理し、デバイスのステータスをモニタリングするためのアプリケーションです。

BRAdmin Professional 4 を Microsoft Azure Storage サービスに接続することで、IT 担当者は複数の場所にあるデバイスをリモートで管理できるようになります。

- Microsoft Azure Storage（クラウド）には、各デバイス情報が保存されています。
- BRAdmin Professional 4 管理者は、Microsoft Azure Storage（クラウド）にアクセスできる必要があります。



- デバイス管理はリアルタイムには行われません。
- Microsoft Azure 経由では、Web Based Management はご利用いただけません。



マスター

BRAdmin Professional 4 を「マスター」として設定した場合：マスターは、クライアント、クラウドコネクション、ローカルデバイスを管理し、クライアントやクラウドコネクションの情報を Microsoft Azure 経由で収集し、インスタント タスクを実行します。

クライアント

BRAdmin Professional 4 を「クライアント」として設定した場合：BRAdmin Professional 4 対応デバイスは、クライアントを介して Microsoft Azure に接続します。クライアントはデバイスデータを Microsoft Azure へ定期的にアップロードするため、クライアントがインストールされたパソコンの電源は常にオンにしておく必要があります。クライアントがインストールされたパソコンの電源がオフの場合、クライアントに接続しているデバイスはマスターのデバイスリスト上でコネクションエラーとして表示されます。

クラウドコネクション

クラウドコネクション対応デバイスは、Microsoft Azure へ直接接続して、デバイス情報を定期的にアップロードします。



各デバイスは、クライアントまたはクラウドコネクションのどちらか 1 つの接続タイプでのみ管理することができます。

1.2 動作環境

BRAdmin Professional 4 とクラウド接続のデバイスは、インターネット経由で Microsoft Azure にアクセスする必要があります。

| | |
|--------------|--|
| オペレーティングシステム | Windows 10 (32 ビットもしくは 64 ビット)/ Windows 11 (64 ビット) Windows Server 2012 以降 (64 ビット) |
| 追加のソフトウェア | .NET Framework 4.8 以降 |

2 Microsoft Azure

Microsoft Azure の規約は随時変更される可能性がありますので、ご注意ください。

2.1 Microsoft Azure アカウントの設定

BRAdmin Professional 4 を Microsoft Azure に接続するには、Microsoft Azure のサブスクリプションと Microsoft Azure Storage アカウントが必要です。

BRAdmin Professional 4 を Microsoft Azure で使用する場合、Microsoft Azure のサブスクリプションに課金されます。

2.2 Microsoft Azure の設定

Web ブラウザを開き、Microsoft Azure ポータルページにアクセスします。
次のものをご用意ください。

- リソースグループ
- ストレージアカウント
- Blob ストレージコンテナ
- Table



- Microsoft Azure への接続時に、既存のテーブルと Blob ストレージコンテナを再利用することはできません。Azure プロファイルごとに、新しい Table と Blob ストレージコンテナを作成する必要があります。
 - Table のアクセスポリシーを作成し、読み取り、追加、更新、および削除の各権限を選択します。
 - Blob コンテナに対して、読み取り、追加、作成、書き込み、削除、リストを選択したアクセスポリシーを作成します。
-

2.3 Shared Access Signature (SAS) 設定について

SAS は誰にも教えないでください。



- BRAdmin Professional 4 は、Table ストレージと Blob ストレージ内のデータを使用するため Table ストレージおよび Blob ストレージコンテナ内に含まれるデータを直接編集しないでください。
 - クラウドコネクションデバイスが正しい Azure プロファイルに表示されるように、テーブルと Blob SAS キーがプロファイルの SAS キーと一致することを確認してください。
-

詳細な説明については、[Brother Support for IT Administrators \(ブラザー IT 管理者向け サポート\)](#) をご覧ください。このページは英語版でのみご利用いただけます。

3 BRAdmin Professional 4 を使用したセットアップ

各 Azure プロファイルについて、最初にマスターを設定し、次に同じ Table と Blob ストレージ コンテナを使用してクライアント/クラウドコネクションを設定します。詳細は、「[3.1 マスターの設定](#)」をご覧ください。クライアントを使用するには、「[3.1 マスターの設定](#)」および「[3.2 クライアントの設定](#)」を参照してください。クラウドコネクションを使用するには、「[3.1 マスターの設定](#)」および「[3.3 クラウドコネクション設定](#)」を参照してください。

両方を使用するには、「[3.1 マスターの設定](#)」、「[3.2 クライアントの設定](#)」および「[3.3 クラウドコネクション設定](#)」を参照してください。

3.1 マスターの設定

1. BRAdmin Professional 4 の最新バージョンをパソコンにダウンロードします。
2. マスターから **デバイス** タブをクリックし、左側のナビゲーションバーから **新しい Azure プロファイル** を選択します。
3. **Blob URI:** と **Table URI:** フィールドに SAS キーを入力し、**OK** をクリックします。
4. Azure のポーリング周期を設定し、**アップロード** をクリックします。これで BRAdmin Professional 4 が「マスター」としてセットアップされました。



ネットワーク環境に応じて、**アプリケーション設定 > ネットワーク > プロキシ**で、必要に応じてプロキシサーバーの設定を行ってください。


3.2 クライアントの設定

クライアント用に BRAdmin Professional4 を新しくインストールする場合：

1. マスターからクライアント用 INI ファイルをエクスポートし、クライアント設定ロックを設定します。
クライアント設定ロックパスワード（ASCII 文字で 1～255 文字）を設定するには、クライアント用 INI ファイルをエクスポートする ... ボタンをクリックします。
このパスワードは、クライアント設定ロックの解除に必要となります。
エクスポートした INI ファイルの取り扱いについては注意してください。

マスター Brother BRAdmin Professional 4



The screenshot shows the Brother BRAdmin Professional 4 interface. The 'クライアント' (Client) tab is selected. A table lists various devices with their status, model names, and node names. A red box highlights the 'クライアント用 INI ファイルをエクスポートする...' button. A red arrow points from this button to a dialog box titled 'Brother BRAdmin Professional 4' which prompts for a 'クライアント設定ロックパスワードの作成' (Client configuration lock password creation).

2. BRAdmin Professional 4 のインストーラー（マスターと同じインストーラー）とエクスポートした INI ファイルをクライアントとして利用するパソコンの同じフォルダーに保存します。
3. インストーラーを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。
4. BRAdmin Professional 4 クライアントは、settings.ini ファイルの設定に従って、自動的にデバイスを検索します。
終了したら、マスターの検索ボタン  をクリックして、クライアントデバイスを検索します。




ネットワーク環境に応じて、**アプリケーション設定 > ネットワーク > プロキシ**で、プロキシサーバーの設定を行ってください。

既存の BRAdmin Professional 4 をクライアント用に変換するには：

1. 最新版の BRAdmin にアップデートしてから、アプリケーション設定のアプリケーション設定のバックアップ：バックアップファイルのインポート機能を使い、マスターからエクスポートしたクライアント用の ini ファイルをインポートします。既存の設定が上書きされますので、必要に応じて再設定してください。
2. デバイスを検索するには、クライアントの検索ボタン  をクリックします。
3. マスターの検索ボタン  をクリックして、クライアントデバイスを検索します。

3.3 クラウドコネクション設定

クラウドコネクションは、デバイスと Microsoft Azure を直接接続します。

1. サポートサイト (support.brother.com) から、Microsoft Azure 対応ファームウェアをダウンロードして適用してください。
対応機種については、ブラザーテクニカルサポートにお問い合わせください。
2. Web Based Management で、Microsoft Azure の接続を設定します。
 1. Web ブラウザを起動します。
 2. ブラウザーのアドレスバーに「http:// 製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」は、本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名です）。例：http://192.168.1.2。
 3. 本製品によりパスワードの入力が求められたら、パスワードを入力し  をクリックします。




- 本製品の設定を管理するためのデフォルトのログインパスワードは、本製品の背面に記載されています。「Pwd」の後に続く番号がパスワードとなります。
- 不正なアクセスから製品を守るため、デフォルトのログインパスワードを変更されることを推奨します。

4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. 左側のナビゲーションバーにある**ネットワークプロファイル**をクリックし、**プロファイル 1 の FTP** をクリックします。
6. **Azure** のラジオボタンを選択し、**OK** をクリックします。
7. **Blob URI:** および **Table URI:** フィールドに SAS キーを入力し、**プロファイル名**を入力してから **OK** をクリックします。
8. 日時の設定、または SNTP を設定します。
SNTP の使用をお勧めします。
9. Microsoft Azure ストレージにアクセスするために、CA 証明書を取得します。
CA 証明書に関する情報は、[Brother Support for IT Administrators \(ブラザー IT 管理者向け サポート\)](#) をご覧ください。
CA 証明書を設定するには：
 1. **ネットワーク**タブの**セキュリティ** をクリックします。
 2. 左のナビゲーションバーにある **CA 証明書** をクリックし、**CA 証明書のインポート** をクリックします。
 3. ファイルを選択し、**OK** をクリックします。



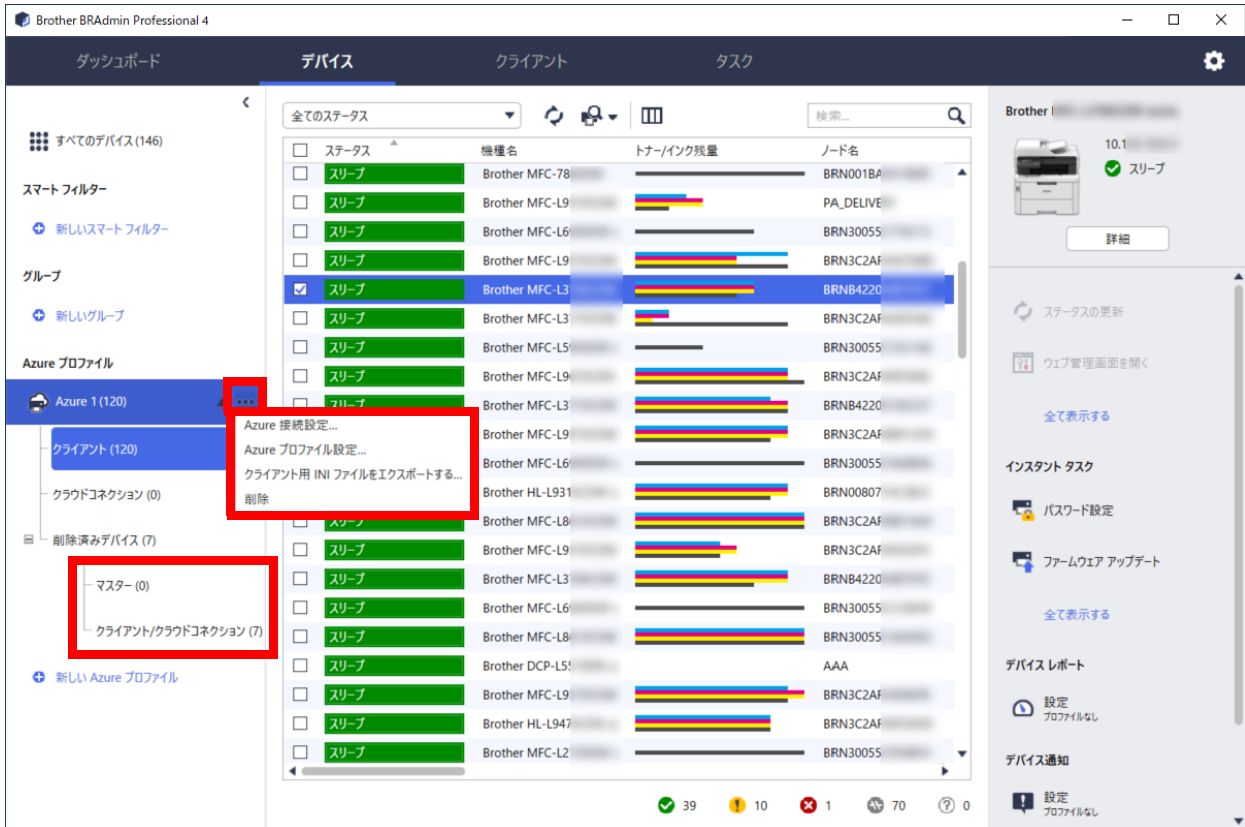
ネットワーク環境に応じて、プロキシサーバーの設定を必要に応じて行ってください。

1. **ネットワーク**タブをクリックし、左側のナビゲーションバーの**プロトコル**をクリックします。
 2. **プロキシ**のチェックボックスが選択されていることを確認し、**OK** をクリックします。
 3. **プロキシ**フィールドで、**詳細設定**をクリックします。
 4. プロキシサーバー情報を入力し、**OK** をクリックします。
-
10. **管理者設定**タブをクリックし、左側のナビゲーションバーで **BRAdmin クラウドコネクション** をクリックします。
 11. **BRAdmin** クラウドコネクションのラジオボタンの**オン**を選択し、**プロファイル 1**（先ほど選択したプロファイル）を選択し、**OK** をクリックします。
 12. **接続状態**でステータスを確認します。
 13. マスターの検索ボタン  をクリックして、デバイスを検索します。

4 操作

マスター、クライアント、クラウドコネクションの設定後、マスターでデバイス探索を実行すると、デバイスリストに Azure デバイスが表示されます。

4.1 マスター：デバイスタブ



...をクリックして以下のアクションが実行できます。

- Azure 接続を変更する場合：
Azure 接続設定 ... を選択します。
必要に応じて、**Blob URI:** と **Table URI:** フィールドを変更するか、Azure 接続を有効または無効にします。
- Azure プロファイル設定を変更する場合：
Azure プロファイル設定 ... を選択し、Azure プロファイルを表示します。
- クライアント用 INI ファイルをエクスポートするには：
クライアント用 INI ファイルをエクスポートする ... を選択します。
- Azure プロファイルを削除する場合：
削除 を選択します。
プロファイルを削除すると、そのプロファイルに関連付けられているクライアントはクライアントタブから削除され、クライアントデータはデータベースから削除されます。
デバイスリストが更新されると、削除されたプロファイルに関連付けられているデバイスはすべて、**デバイスタブに接続に失敗しました**と表示されます。

削除済みデバイス

Azure デバイスを削除すると、BRAdmin は関連付けられた Azure プロファイルにある**削除済みデバイス**リストに移動します。削除済みデバイスは検出できませんが、**削除済みデバイス**リストに名前が残ります。

- **マスター**
マスターで削除したデバイスがここに表示されます。
削除済みデバイスを復元するには、デバイス名を右クリックするか、右側のペインの **Azure デバイス再表示** リストを選択します。
- **クライアント/クラウドコネクション**
クライアントで削除したデバイスがここに表示されます。これには、クライアントとクラウドコネクションで Microsoft Azure が無効になっているデバイスも含まれます。

マスターで削除済み、またはクライアント/クラウド接続のリストにあるデバイスを削除した後に再検索する場合：


- クライアントデバイスを再検索するには、該当するクライアントでデバイスの検索を実行します。
- クラウド接続のデバイスを再検索するには、Web Based Management を使用してデバイスを接続解除して、Microsoft Azure に再接続します。

4.2 マスター：クライアントタブ



クライアント操作やタスクを実行する際は、ひとつまたは複数のクライアントを選択し、右側のペインから実行する操作またはタスクを選択します。


- クライアント設定を変更するには、右側のペインにある**設定**ボタンをクリックします。
- **インスタントタスク**を実行するには、次のいずれかを選択してください。
 - **デバイス検索**
クライアントでデバイスの検索を実行します。
 - **SAS キーの更新**
 - **設定ロックパスワードの変更**

 すべてのクライアントが同じ設定パスワードを使用している場合、複数のクライアントを選択し、すべてのクライアントのパスワードを同時に変更することができます。

4.3 クライアント

クライアント設定へのアクセスは、デフォルトでロックされています。これは、管理者の許可なく、アプリケーションや本体設定を変更することを避けるためです。クライアント設定やクライアントに接続されたデバイスの設定を変更するには、設定ロックを解除する必要があります。

クライアント**設定ロック**を解除するには：

1. **アプリケーション設定**  をクリックして開きます。
2. **基本設定**を選択します。
3. **ロック解除**をクリックし、クライアント**設定ロックパスワード**を入力します。
クライアント**設定ロックパスワード**は、クライアント **INI ファイル**をエクスポートする際に作成したパスワードです。

Azure 接続を確認する場合：

1. **アプリケーション設定**  をクリックして開きます。
2. **Azure 接続**を選択します。

5 困ったときは

問題が続く場合は、ブラザーテクニカルサポートにお問い合わせください。

5.1 接続障害

デバイスが検索できない、または接続エラーが解除できない場合は、以下を確認してください。

- マスター、クライアント、クラウドコネクションがすべて同じ SAS キーを有している、または各 Table/Blob が同じ SAS キーを有している。
- SAS キー、権限設定、有効期限が適切であることを確認する。

マスター

マスターでデバイスの再検索や更新ができない場合は、以下を確認してください。

- マスターのパソコンがネットワークに接続されていること。
- 対象デバイスがクライアントに表示されていること。

クライアント

クライアントデバイスの再検索や更新ができない場合、まずクライアントでデバイスを再検索して、デバイスを検索出来ることを確認します。

それでもデバイスが見つからない場合は、以下をご確認ください。

ネットワーク接続の種類を問わず：

- パソコンがネットワークに接続され、電源がオンになっていること。
- 対象デバイスがネットワークに接続され、電源がオンになっていること。
- セキュリティ ソフトウェアやファイアウォールによって検索が妨害されていないこと。
- 対象デバイスがデバイス探索条件に一致していること。
- 対象デバイスがブロードキャストパケットの範囲内にあること。範囲内にはない場合は、ユニキャスト検索をお試しになるか、BRAgent ソフトウェアを使用してください。

USB 接続デバイスの場合は、以下を確認してください。

- 対象デバイスで適切なドライバが使用されていること。
- 対象デバイスが USB 差し込み口に接続されていること。
- 対象デバイスがビジー状態ではないこと。

クラウドコネクション

次の点を確認してください。

- Web Based Management で BRAdmin クラウドコネクションが有効になっていること。
- 適切なプロファイルが選択されていること。
- CA 証明書がインストールされており、有効期限が切れていないこと。
- プロキシ設定が正しいこと。
- 最新のファームウェアがダウンロードされていること。
- クラウドコネクションを利用している端末は、ネットワークに接続され、インターネットにアクセスできること。
- クラウドコネクションが Microsoft Azure に接続されていること。Web Based Management でステータスを確認できること。

5.2 Microsoft Azure との接続を解除してデータを削除する

マスター、クライアント、クラウドコネクションのすべてで、Microsoft Azure 接続を無効にします。

Table と Blob に残っているデータをすべて削除するか、BRAdmin Professional 4 用に作成したリソースグループを削除してください。

5.3 困ったときは

| エラー | 対処方法 |
|---|--|
| タイムアウトエラー - デバイスの数が多いか、接続エラーが発生したデバイスが多いため、タイムアウト制限時間内にタスクが終了しませんでした。 | マスター側で再度新しいデバイスを検索するか、対象デバイスの数を減らすか、 アプリケーション設定 > ネットワーク でタイムアウトの設定を延長してください。 |
| プロファイルが一時停止状態です | プロファイルを再開するには、 Azure プロファイル を開き、 Azure 接続設定 ... をクリックし、Azure を有効にしてください。 |
| 有効なプロファイルがありません | プロファイルを再作成してください。 |
| タイムアウトエラー - クライアント/クラウドコネクションから応答がありませんでした。 | ネットワーク接続状況が正常であることを確認してください。クライアント、クラウドコネクション、またはその両方がオフラインまたはビジー状態でないことを確認してください。 |
| タイムアウトエラー - クライアント/クラウドコネクションはタスクを受信しましたが、タスク結果を返しませんでした。 | クライアント、クラウドコネクション、またはその両方が正しく動作していることを確認してください。詳細は、「 5.1 接続障害 」をご覧ください。 |
| Blob アクセスエラー | Blob キーが正しいことを確認してください。 |
| 暗号化エラー | Table のデータをすべて削除してください。 |
| 復号エラー | 新しい Table データが追加・変更された可能性があります。データを削除します。不明な場合は、以下の手順で確認してください。 <ol style="list-style-type: none">1. Table のデータを初期化する。2. マスターからプロファイル設定をアップロードする。3. クライアントとクラウドコネクションを再接続する。 |

brother